

令和2年度丸亀護国神社の大注連縄作成・奉納

隊友会丸亀支部有志16名による令和2年度丸亀護国神社大注連縄の作成を行った。作業は、0800から稲わらの搬入作業、古い注連縄の引き下ろし作業、水たまりの整地作業等準備を実施。0900から安全祈願の後、組区分、安全管理、作業指示の後、作業開始。当初、作業内容について事業の継承、教育をかねて作業細部実施要領、着眼を説明し、大注連縄の作業組2組、小注連縄作業組1組を編成して作業開始、午前中に3本の注連縄を完成、大注連縄の3本締めを行い完了。

昼食休憩の後、1215作業開始、下がり、幣(しで)を付け大注連縄の作業を完了。引き続き、石柱への飾り付け作業を実施、1315飾り付けを完了し作業完了を御祭神に報告。赤松会員の尺八献笛を持って今年度の大注連縄奉仕作業を完了した。この間、丸亀護国神社奉賛会会長には、注連縄奉納作業の全容を理解していただくとともに水本事務局次長には、注連縄作業の細部についてビデオ撮影をしていただきました。

ビデオは、爾後編集して今後の円滑な注連縄作業の教材資料として活用するとともに、広く公開し丸亀護国神社ご奉仕の広報に努めたいと思います。

なお、丸亀護国神社大注連縄奉納は、平成12年から実施しており今年度で21回目である。



小注連縄本体作成完了



大注連縄3本の捻り作業



大注連縄の飾り付けを完了して
吊り下げ作業石柱への



大注連縄作成作業を完了して
奉仕者全員による集合写真

令和3年度丸亀護国神社の大注連縄作成・奉納

漸くコロナ禍も下火となり沈静化の希望が見通せる中、晴天に恵まれた11月20日(土)奉賛会吉川会長、隊友会丸亀支部有志、隊友会会員家族の13名で令和3年度丸亀護国神社大注連縄の作成を行った。作業は、0800から稲わらの搬入作業、脚立等準備を実施。0900から安全祈願の後、組区分、安全管理、作業指示の後、作業開始。当初、古い注連縄の石柱からの卸下作業、其の後大注連縄の作業組2組、小注連縄作業組1組を編成して作業開始、午前中に大注連縄の3本締め、下がり、垂の飾り付けまで完了。

昼食休憩の後、1300石柱への飾り付けを完了、御祭神に無事注連縄奉納の報告。今年度は、参加者13名であったが、極めて効率よく整齊と作業は完了した。隊友会有志による大注連縄の奉納は、成12年から実施しており今年度で22回を数えました。



小注連縄作成



小注連縄の社殿飾り付け完了



大注連縄の石柱への吊り下げ作業



大注連縄作成作業を完了して奉仕者による集合写真